



朝一小だより

活気と潤いがあり、みんなが「育つ」学校

TEL048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

学校教育目標

- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



朝霞市立朝霞第一小学校
令和3年5月6日
児童数 588名
校長 野口 邦彦

「チーム一小」として、みんなが「つながる」ことで

校長 野口 邦彦

今年度、朝霞一小の学校経営の柱の一つに「つながる」という言葉をあげさせてもらいました。

学校は子ども達が「育つ」場であり、そのためには、子ども達に関わる全ての人達がつながっていくことで、とても重要であると考えます。現在、教師、保護者、学校応援団、地域の方など、それぞれの方が、それぞれの立場で子ども達の「育つ」にアプローチしています。こういった子ども達の「育つ」に関わる人達が、それぞれの立場を理解しつつ、みんながつながっていく、子ども達が「育つ」環境は、誰かが頑張ればできるというものではなく、子ども達に関わる全ての人たちが、子どもが「育つ」という共通の目的に向け、みんながつながっていく（＝チームになる）ことでより大きな力になっていくと思います。

新型コロナウイルスは、人と人を離そうとする傾向があり、現在のコロナ禍において、つながるための具体的な手立てが難しい状況であります。でも、こういった状況であれ、子ども達が「育つ」環境をつくっていくためには、「つながる」という意識も大切にしていければと思います。そのための手立てとして、朝霞一小では、令和4年度コミュニティ・スクール（以下、CS）設置を予定しており、今年度、準備を進めていきたいと思っています。今後、「CSとは何か」「CSの準備状況」等みんなで共通理解が図れるよう、学校だより等を通じてお知らせしていきたいと思っています。

これも「つながる」ためのひとつ、GIGAスクール構想運用開始

5月より朝霞一小においても、GIGAスクール構想の運用が開始されます。現在は、まだ学年・学級がスタートしたばかりで、やるべき事がたくさんありますが、使える所からタブレットを活用していきます。台湾のデジタル担当大臣のオードリー・タンさんは「ICTは機械と機械をつなげるが、デジタルは人と人とをつなげる」と言っています。このGIGAスクールも、人と人をつなげ、子ども達が未来とつながるツールになってくれればと思います。



こちらをご覧ください「校長室だよりII」

昨年度から先生方に向けて、「校長室だより（昨年度は100号）」を書いています。学校という場はとても忙しく、先生方一人一人とじっくり話す機会が少ないため、「校長室だより」として、私が考えていること、思っていることを紙面にして、読んでもらっています。昨年度書かせてもらって、これは先生だけじゃなく、保護者や地域の方とも一緒に考えたいテーマだなあと思うことが何回かありました。そこで、今年度は、そんな「校長室だより」を学校ホームページで公開したいと思います。ぜひ、学校HPの「校長室だより」もご覧いただき、共に子どもの「育つ」を考える場として、活用していければと思います。

新型コロナ変異株、状況を確認しながら

新型コロナウイルスの変異株の動きが活発になってきました。朝霞市も4月24日にまん延防止等重点措置の対象地域となり、人流抑制を目的に、様々な制限が行われます。これに伴って、5月13・14日に予定していた6年生の修学旅行を、11月22・23日に延期することを決定しました。苦渋の決断ではありましたが、やはり「危険が叫ばれている中」での実施は難しく、今回の判断をさせていただきました。

今後の行事や活動についても、この変異株の動向や感染状況を考えながら判断していきたいと思っています。何卒、ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。